

台風について理解を深めよう !!

台風とは

- 台風は、暖かい海の上で発生するととも強い熱帯低気圧です。気象庁では、北西太平洋などにある熱帯低気圧のうち、最大風速がおよそ 17 m/s 以上になったものを「台風」と呼びます。
- 台風の目とは、一言で表すと、台風の中心付近にできる比較的風が弱く雲の少ない部分です。しかし、台風の目のすぐ外側には「目の壁（アイウォール）」という非常に発達した積乱雲があるので、猛烈な風が吹いたり、激しい雨が降ります。
- 発生方法は、暖かい海から大量の水蒸気が上昇し雲となります。そこに空気が集まり地球の自転の影響で渦ができます。この渦が発達して風が強くなり台風へと発達していきます。

強い・猛烈ってどう決まるの？

- 日本では台風の強さを最大風速で分類します。

最大風速	呼び方
17 ~ 33m / s 未満	台風
33 ~ 44m / s 未満	強い台風
44 ~ 54m / s 未満	非常に強い台風
54m / s 以上	猛烈な台風



hPaってそもそも何？

台風の「hPa（ヘクトパスカル）」は、台風の中心の気圧を表します。

中心気圧が低いほど、一般的に台風は強くなり、強い風が吹きやすくなります。

ただし、台風の強さは中心気圧だけで決まるわけではなく、最大風速なども合わせて判断します。

ちなみに、風は台風の進行方向の右側で強くなる傾向があります。

台風に備えるために

台風による強風や大雨に備えて、天気予報や町が発信する避難情報などを確認し、早めに判断・準備することが大切です。飛ばされそうなものを片付け、非常食や飲み水、防災グッズなどを準備しておきましょう。また、防災ガイドブックやハザードマップで避難場所や危険箇所の確認をして、危険を感じる前に早めに避難するよう心がけてください。

利根町行政アプリをインストールしよう！

災害から自分や大切な人の命を守るための防災情報などを、町民の皆さまに発信します。

二次元コードからインストールできますので、ぜひご活用ください！

